

⑫ 公開實用新案公報 (U)

昭62-18572

⑤ Int. Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和62年(1987)2月4日

F 28 D 7/10

7710-3L

審査請求 未請求 (全2頁)

⑤④考案の名称 二重管式熱交換器

②実 願 昭60-106504

②出 願 昭60(1985)7月12日

⑦②考 案 者 大 嶋 正 和 川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会社内

⑦出願人 富士電機株式会社 川崎市川崎区田辺新田1番1号

⑦代理人 弁理士 山口 巖

⑤⑦ 実用新案登録請求の範囲

両端を揃えて平行に配列したヘアピン状のパイプの隣合う相互間をUベンドパイプを介して蛇行状に直列接続してなる銅製のインナチューブと、該インナチューブに沿ってその直線部分の外周に嵌装された両端開放の直線状の銅製のアウトチューブと、相対向する内側の胴壁面に隣合う前記アウトチューブの貫通孔が設けられ該アウトチューブを中央に挟んで前記胴壁面の外側に該アウトチューブ内から延出する前記インナチューブの両端部を貫通して突出させてなる該アウトチューブを直列に連結する銅製のヘッダとをシール接合して一体化した二重管式熱交換器において、アウトチューブの出・入口部を形成するヘッダを、一端側にアウトチューブを嵌合し他端側をインナチューブ

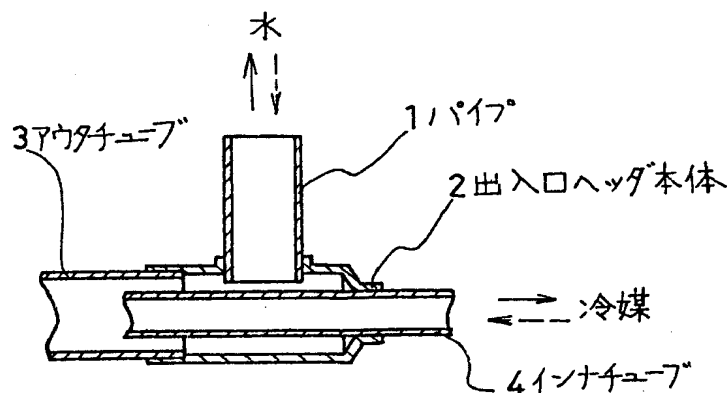
ブが貫通接合可能に絞り胴壁に出・入口パイプの貫通孔を設けた銅パイプ製のヘッダ本体と該貫通孔に装着接合する銅製の出・入口パイプとで構成したことを特徴とする二重管式熱交換器。

図面の簡単な説明

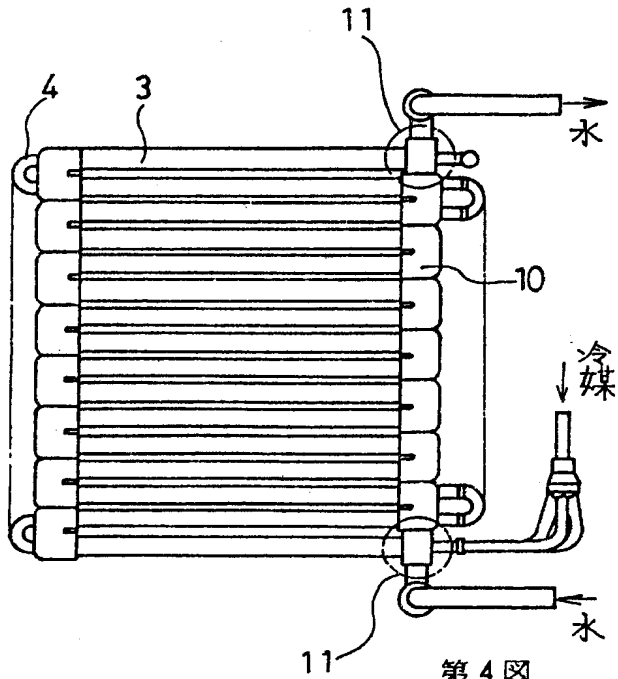
第1図はこの考案の要部である出・入口ヘツダ断面図、第2図ないし第4図は従来例の二重管式熱交換器を示すもので第2図はその正面図、第3図はその側面図、第4図はその第1図に対応する要部断面図である。

1 ……出・入口パイプ、2 ……出・入口ヘツダ
本体、3 ……アウタチューブ、4 ……インナチュー
ブ、10 ……ヘツダ、11 ……出・入口ヘツ
ダ。

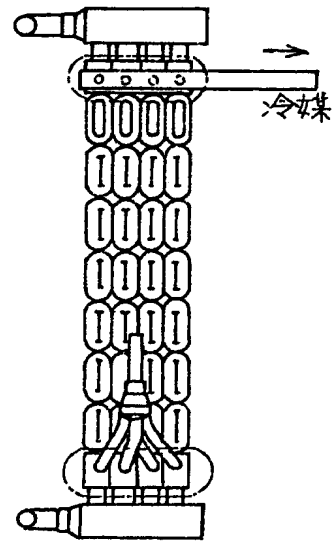
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

